



戦争反対、平和を築く

JCJ 2025年8月集会

戦後80年～ 私たちは今どこにいるのか

戦後80年の今年は、JCJ（日本ジャーナリスト会議）がスタートしてから70年にあたります。戦時中ジャーナリズムが政府や軍部に抗うことなく戦争へ加担した反省からJCJは「再び戦争のためにペンを、カメラを、マイクをとらない」を誓い、活動を続けてきました。戦後80年をジャーナリズムの立場から検証していく、今回の集会では戦後の日本社会の転換点を見つめ、これからの私たちの歩む道を考えます。

■報告とシンポジウム

片山 夏子さん（かたやまなつこ 東京新聞福島特別支局記者）

斎藤 貴男さん（さいとう たかお ジャーナリスト）

山口 昭男さん（やまぐち あきお 編集者・評論家 JCJ 代表委員）

古川 英一（ふるかわ えいち JCJ 事務局長 コーディネーター）



開催日時：8月9日（土）13:30～16:30（開場 13:00）

会場：エデュカス東京（JR 四ツ谷、市ヶ谷から徒歩7分）

参加費：会場、オンライン共に会員・一般1000円、学生500円

賛同団体：日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）、放送を語る会、マスコミ市民、メディア総合研究所



J C J 8月集会（8月9日土曜日 13:30～） 「戦後80年～私たちは今どこにいるのか」

■開催趣旨と呼びかけ

JCJ（日本ジャーナリスト会議）は戦後80年を前に、去年2回にわたり集会を開いて軍拡へとひた走る国の動きを食い止めるためにはどうしたらよいかを考えてきました。そして迎えた戦後80年、今回の8月集会では戦争・平和という視点だけではなく、戦後の日本社会の転換点となる出来事や問題取材してきたジャーナリスト3人とともに戦後の大きな節目を見つめ、これからの私たちの歩む道を考えます。

■登壇者プロフィール

●片山夏子さん（かたやま なつこ）

東京新聞（中日新聞東京本社）の福島特別支局記者。化粧品会社の営業、ニート、埼玉新聞に。埼玉新聞で、出生前診断の連載「いのち生まれるときに」でアップジョン医学記事賞の特別賞受賞。その後、中日新聞社に入社し、臓器移植問題や原発作業員の労災の問題などを取材。東日本大震災翌日から原発事故の取材をし、2011年8月から作業員の日常や家族への思いなどを綴った「ふくしま作業員日誌」を連載。同連載が「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」大賞受賞。連載に作業員1人1人の9年間を加筆した書籍「ふくしま原発作業員日誌～イチエフの真実、9年間の記録～」(朝日新聞出版)が講談社本田靖春ノンフィクション賞と早稲田ジャーナリズム大賞の奨励賞など3賞受賞。

●斎藤貴男さん（さいとう たかお）

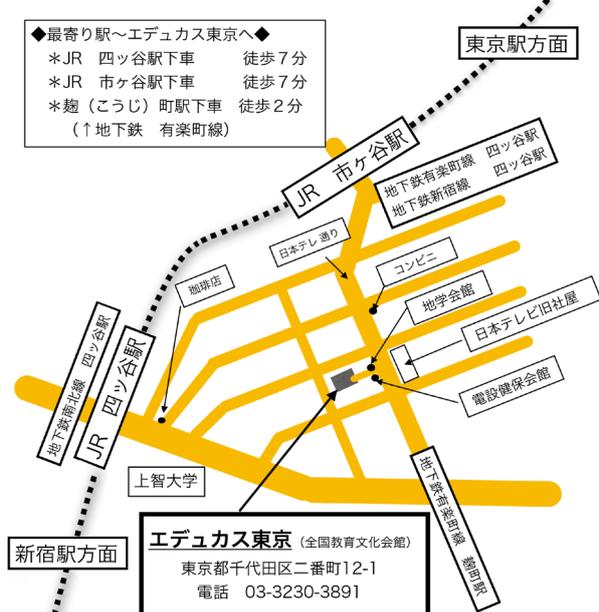
フリージャーナリスト。1958年東京都生まれ。早稲田大学商学部卒、英国バーミンガム大学大学院修了(国際学MA)。日本工業新聞記者、週刊文春記者、プレジデント編集部などを経て独立。主な著書に、『カルト資本主義』『機会不平等』『夕やけを見ていた男——評伝梶原一騎』『安心のファシズム』『空疎な小皇帝「石原慎太郎」という問題』『民意のつくられ方』『消費税のカラクリ』『ルポ改憲潮流』『「東京電力」研究 排除の系譜』『子宮頸がんワクチン事件』『戦争経済大国』『失われたもの』『ジャーナリストという仕事』『国民のしつけ方』『「明治礼賛」の正体』など。

●山口昭男さん（やまぐち あきお）

編集者・評論家。日本ペンクラブ会員、日本ジャーナリスト会議代表委員、井上ひさし研究会会長、ふくい風花随筆文学賞実行委員会理事、檜の会理事、日本学基金理事。1949年東京生まれ。73年東京都立大学経済学部卒業。同年、岩波書店入社、雑誌『世界』編集部配属され、以後一貫して『世界』編集部所属。88年～96年編集長。編集部長、取締役編集担当を経て、2003年～13年代表取締役社長。出版界にかかわりながら、評論活動を続ける。現在、中央経済社HD常勤監査役。著書に『辻井喬＝堤清二文化を創造する文学者』（共著、平凡社、2016年）、『メディア学の現在 新訂第2版』（共著、世界思想社、2015年）など多数。

●古川英一（ふるかわ えいいち） JCJ 事務局長 コーディネーター

■会場へのアクセス



■会場参加の方は事前に JCJ事務局に連絡を！

会場参加される方は事前にJCJ事務局への連絡をお願い致します。

メール：office@jcyj.gr.jp

電話：03-6272-9781

(月・水・金 13:00～17:00)

■オンラインでご参加の方へ

当該イベントはインターネットを通じオンラインで視聴参加出来ます。

お申し込みは <https://jcyj0809.peatix.com/> へのアクセス

からスマホで右のQRコード

を読んで下さい。お一人1,000円、

ピーティックス (Peatix) からの

お支払となります。

